

2017年10月20日
日本生命保険相互会社

東京グリーンボンドへの投資について

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信、以下「当社」）は、国内自治体初のグリーンボンドとなる東京都が発行する「東京グリーンボンド」（以下「当債券」）に投資しました。当債券の償還期間は5年および30年となり、償還期間10年超の超長期グリーンボンドの発行は国内発行体で初となります。

グリーンボンドは環境事業に資金用途を限定した債券であり、世界的かつ急速に市場が拡大しています。国内では、2017年3月に「グリーンボンドガイドライン 2017年版」（日本版グリーンボンド原則）がグリーンボンドの普及を目的に環境省によって策定されました。東京都と当社は、ガイドライン策定にあたり開催された「グリーンボンドに関する検討会」に、それぞれ発行体・投資家として参画する等、国内グリーンボンド市場の活性化に努めてきました。

当債券による調達資金は、「スマートエネルギー都市づくり」「クール・クリーンで快適な都市づくり」「気候変動の影響への適応」等の環境対策事業に充当される予定です。当社は、当債券への投資を通じて、長期にわたって安定収益を確保するとともに、投資資金が環境対策の一助となることを期待しています。

なお、当社は昨年度、国連責任投資原則への署名を行っているほか、中期経営計画「全・進-next stage-」（2017-2020）において、4年で1.5兆円の成長・新規領域への投融資を目指す中でESG債等への投融資2,000億円を目標としており、環境領域への投融資を行う当債券もその一つと位置付けています。

今後も、社会公共性・投資採算性をふまえ、ESG投融資を強化することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に寄与してまいります。

<当債券の概要>

| | |
|------|----------------|
| 名称 | 東京グリーンボンド |
| 発行体 | 東京都 |
| 発行総額 | 100 億円 |
| 償還期間 | 5 年・30 年 |
| 資金使途 | 東京都が選定した環境対策事業 |

<当債券の資金使途例> (出典：東京都「グリーンボンドの発行方針」)

| 区分 | 事業名 |
|-----------------------|-------------------|
| スマートエネルギー 都市づくり | 都有施設の改築・改修 |
| | 都有施設・道路の照明の LED 化 |
| | 都有施設の ZEB(※)化推進 |
| | 上下水道施設の省エネ化 |
| | 環境にやさしい都営バスの導入 |
| クール・クリーンで 快適な都市づくり | 公園の整備 |
| | 合流式下水道の改善 |
| | 水再生センターでの高度処理 |
| 気候変動の影響への 適応 | 中小河川の整備 |
| | 高潮防御施設の整備 |

※ Net Zero Energy Building の略称。建築物における一次エネルギー消費量を、省エネルギー性能向上や再生可能エネルギーの活用等により削減し、年間消費量が正味でゼロまたはおおむねゼロとなる建築物

(都有施設の改築・改修)



(公園の整備)



(写真提供：東京都)

以 上